



2025 年 10 月 27 日

報道関係者各位

慶應義塾大学

エコールサントラルナント名誉教授 ファド・ベニス氏へ 慶應義塾大学名誉博士の称号を授与

慶應義塾大学は、エコールサントラルナント名誉教授であるファド・ベニス氏に対し、名誉博士の称号を授与します。

ファド・ベニス氏は、長年にわたり慶應義塾大学との学術提携に尽力され、理工学部・大学院理工学研究科との協同によるダブルディグリープログラムやフランス語・フランス文化春季講座を通じて、これまでに 300 名以上の学生を受け入れ、両校の学術交流を促進してこられました。また、ロボティクスおよび学際的最適化の分野においても産業界との連携を重視し、学術的な知見の実用化に多大な貢献をされました。本学はこれらの功績に敬意を表し、慶應義塾大学名誉博士の称号を授与いたします。

つきましては、下記の通り名誉博士称号授与式を開催いたしますので、ぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

1. 名誉博士称号授与式

日時：11 月 6 日（木） 15:45～17:00

会場：慶應義塾大学三田キャンパス内 三田演説館

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>（キャンパスマップ【15】）

言語：英語（同時通訳なし）

2. ファド・ベニス氏について

ファド・ベニス氏は、ナント大学にてロボティクスの博士号を取得後、1991 年よりエコールサントラルナントの教授に着任。2015 年には「特別教授（Exceptional Professor）」の称号を授与されました。

同氏は、2002 年から 2021 年まで同校の国際部部長を務め、数多くの国際学術交流プログラムの開発に携わってきました。特に慶應義塾大学との学術提携に尽力され、理工学部・大学院理工学研究科との協同によるダブルディグリープログラムやフランス語・フランス文化春季講座を通じ、これまでに 300 名以上の学生を受け入れ、両校の学術交流を促進されました。

また、研究者としては、協調設計、意思決定、バーチャルリアリティ応用、ロボスト設計、多分野最適化の分野で優れた業績を上げ、特に産業界との連携を重視してきました。タレス社とのレーダー最適化プロジェクトや SIREHNA 社との欧州プロジェクト「FANTASTIC」など、多くの共同研究を主導し、学術的な知見を実用化につなげています。これまでに 224 本の論文・出版物を発表し、15 冊の書籍・書籍章を執筆し、さらに国際学術誌の編集委員や国際会議の科学委員も務めるなど、学术界へも多大な貢献をされています。

3. ご取材について（事前申込制）

ご取材の際には、メールに以下の必要事項を明記の上、【10 月 31 日（金）まで】にお申し込みください。

- ・宛先： m-pr@adst.keio.ac.jp（慶應義塾広報室宛）
- ・件名：【11/6 慶應義塾大学名誉博士称号授与式】取材依頼
- ・必要事項：①貴社名・貴部署名 ②担当者名 ③合計人数 ④当日連絡先 ⑤カメラ取材の有無（スチル・ムービー）

※恐れ入りますが、お車での入構はご遠慮ください。また、電源は提供しておりません。

【本発表資料のお問い合わせ先】慶應義塾広報室（増田）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>